



平成26年度 東京都立青山特別支援学校 学校経営報告

東京都立青山特別支援学校長 黒澤 一慶

本校は、東京都特別支援教育推進計画第二次実施計画に基づき、平成26年4月に開校した小学部・中学部のある知的障害特別支援学校である。

開校後、1学期は港特別支援学校の校舎を借りて教育活動を進め、8月に移転を行い、2学期から新校舎において教育活動を始めた。大幅な環境の変化による児童・生徒への影響を心配したが、すぐに新校舎の生活に慣れ、11月には開校落成記念式典を適正に実施した。

I 今年度の取組と自己評価

＜教育活動への取組と自己評価＞ 自己評価（達成◎ ほぼ達成○ 一部達成△）

1 児童・生徒の人権を尊重し、個々の障害の程度や状態、教育的ニーズに応じた指導の充実

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	教育活動全体を通じた人権尊重教育の推進（教員研修）	年2回	◎
(2)	知的障害、自閉症及び重度重複の3つの教育課程の適正な実施、評価（学部、学年）	障害特性に基づく指導	◎
(3)	青山教育プランや個別指導計画に基づく指導・評価（教務部）	面談年3回 参観年3回	◎ ◎
(4)	アセスメントによる児童・生徒一人一人に応じた教育の推進（教育支援員担当コーディネーター）	全員	◎
(5)	引越し学習を活用した円滑な教育環境の移行（移転プロジェクト会議）	校外学習全学年実施	◎

2 事故ゼロを目指した安全で安心な教育環境及び校内体制の充実

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	新校舎校内施設使用ルールや特別教室使用ガイドラインの策定（生活指導部、危機管理委員会） 給湯設備対応（財務局・教育庁との連携による改善）	策定済 一部終了 一部対応中	◎ △
(2)	学校危機管理運営マニュアル策定（危機管理委員会） 学校防災教育推進委員会を活用した改善（生活指導担当主幹教諭）	策定済 委員会年3回	◎ ◎
(3)	運行会社や保護者との連携によるスクールバスの安全な運行の徹底（生活指導部）	スクールバス連絡会月1回実施	○
(4)	健康や安全に関する教育活動の推進（学校医による諸検診、学校歯科医等による歯科指導、保健室との連携による食育指導、健康指導を通じた児童・生徒の健康の維持）	定期健康診断 行事前検診 歯磨き教室	◎ ◎ ◎

	増進)		
(5)	デング熱やインフルエンザ等学校感染症流行防止対策の徹底（保健給食部）	屋外での学習の一時停止等	◎
(6)	消防署との連携による諸訓練の実施（生活指導部）	避難訓練 11 回 煙体験他	◎

3 計画的・継続的な教職員のキャリア形成

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	教員一人当たり年1回以上の研究授業実施（研修担当主幹教諭）	全員計 47 回	◎
(2)	職層に応じた育成（年次研修や東京教師道場を活用した若手教員育成、組織運営を通じた主任教諭育成、学校経営参画を通じた主幹教諭育成）	年次研修 3 名 教師道場 1 名 主幹教諭による重点目標管理（年2回進捗報告）	○ ○ ◎
(3)	特別支援学校教諭免許状の取得推進	取得率 72%	◎

4 保護者、地域及び関係諸機関との連携の推進

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	地域関係機関等及び関係者を招聘した学校防災教育推進委員会、学校いじめ対策委員会及び学校保健委員会の開催（生活指導担当主幹教諭、保健給食部）	各3回実施	◎
(2)	青山二丁目町会との連携（副校長、主幹教諭）	清掃月 1 回、町会長との情報交換随時	◎ ◎
(3)	港区青少年対策青山地区委員会との連携（管理職）	委員会 2 回出席	◎

5 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	副籍制度の活用による特別支援教育の理解推進（地域支援部）	直接交流 5 名 間接交流 7 名	○
(2)	港南小学校、港南中学校との交流及び共同学習の実施 青山小学校、青山中学校との交流及び共同学習の実施（地域支援部）	各 1 回実施 青山祭への出展	◎ ◎
(3)	学校公開や学校ホームページを活用した情報発信、学校便りの送付（全校行事部、教務部）	学校公開 2 回実施の へ 193 名来校 ホームページ更新 30 回	◎

6 適正で効率的な学校経営の推進

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	主幹教諭及び主任教諭を中心とした円滑な学校運営の推進（企画調整会議、主幹会議、各部会）	週 1 回程度	◎
(2)	学校運営連絡協議会や学校評価を活用した学校経営改善（教務担当主幹教諭）	保護者アンケート回収率 76%	○

		協議会年3回	
(3)	教職員の心身の健康・安全の維持増進（安全衛生委員会）	産業医相談12回 職員健康診断実施 安全衛生委員会年12回実施	◎
(4)	自律経営推進予算の計画的な執行（経営企画室）	企画管理係長による四半期ごとの経過報告実施年3回	○

<重点目標への取組と自己評価> 自己評価（達成◎ ほぼ達成○ 一部達成△）

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	教科・領域別年間指導計画の作成と保護者配布（教務部）	5月に全保護者に配布	◎
(2)	研究指定「都立特別支援学校における芸術教育推進事業」の推進による教育内容・方法の改善・充実（教務主幹・美術科を中心とした東京芸術大学との連携）	授業支援年10回 教員研修年3回 総合文化祭や公立学校美術展への出展	◎
(3)	新校舎における校内巡回定期点検の実施（危機管理委員会）	年5回、瑕疵・安全・法令・人権等の観点の共有	○
(4)	実際に即した緊急時想定訓練の計画的な実施（生活指導部）	避難訓練毎月1回 総合防災訓練年1回 他想定訓練年3回	○
(5)	教育支援員を活用した教員の専門性向上（相談支援部）	授業観察及びケース会年128回、専門性向上研修年3回 教育支援員実践報告会 2月4日実施	◎
(6)	キャリア教育の視点を取り入れた生活単元学習の充実をめざした研究と実践（研究研修部）	研究会年10回 生活単元学習の充実	○
(7)	近隣住民、保護者を対象とした学校説明会兼校舎内覧会の実施（移転プロジェクト会議）	8月30日実施 42名参加	◎
(8)	支援対象エリアへの特別支援教育コーディネーターによる支援の充実（相談支援部）	相談対応262件 支援対応42校10園	◎
(9)	自律経営推進予算四半期ごとの執行状況確認（経営企画室、予算調整会議）	年3回経過報告状況	○
(10)	教員と行政系職員の連携による円滑で安全な移転作業の推進（移転プロジェクト会議）	港特支との合同連絡会週1回 会議隔週1回 8月下旬移転	◎
(11)	開校記念・校舎落成記念式典の計画的な準備と適正な実施（式典プロジェクト会議）	隔週1回会議実施 11月7日実施	◎

II 次年度以降の課題と対応策

- 1 児童・生徒の人権を尊重し、個々の障害の程度や状態、教育的ニーズに応じた指導の充実
 - (1) いじめ、体罰及び不適切な指導の根絶を目指す人権尊重教育の推進（人権アンケート、人権研修）
 - (2) 児童・生徒一人一人に応じた指導の充実（全員アセスメント実施、新規教材作成、教材展示会）
 - (4) キャリア教育に基づく生活単元学習の研究の推進（外部講師招聘、研究助言及び講演会実施）
 - (5) ICT機器を活用した効果的な学習環境の整備（タブレット端末7台活用推進）
 - (6) 地域生活や社会生活を見据えたキャリア教育の充実（校内シンボルマークの統一、進路研修会・進路先見学会の実施、進路通信の発行）
 - (7) 芸術教育推進事業を活用した図画工作や美術の教育内容・方法の改善・充実（東京藝術大学との連携、総合文化祭及び美術展覧会への出展）
 - (8) 外部専門家や保護者との連携による健康教育の推進（歯科保健指導、摂食指導、栄養指導、健康相談、学校保健委員会）
- 2 事故ゼロを目指した健康・安全で安心な教育環境及び体制整備
 - (1) 学校保健計画に基づく保健管理及び保健指導、学校感染症予防の推進（保健便り等による啓発）
 - (2) 実際に即した緊急時想定訓練の計画的な実施（総合防災訓練の充実、学校防災教育推進委員会、教職員向け普通救命講習受講推進、危機管理研修会）
 - (3) 学校事故防止対策の充実（校内安全点検、事故防止研修、ヒヤリハットの集約・分析）
 - (4) 地域防災対策への参画（地元町会及び赤坂消防署との連携）
- 3 計画的・継続的な教職員のキャリア形成
 - (1) 教員の専門性の向上（外部専門員による授業観察やケース会、専門性向上研修、実践報告会開催）
 - (2) 教員の説明力向上（年1回以上の研究授業、プレゼンテーション研修）
 - (3) 職層に応じた育成（主幹教諭育成、主任教諭育成、若手教員育成、東京教師養成塾生育成）
- 4 保護者、地域及び関係諸機関との連携の推進
 - (1) 保護者との円滑な連携の推進（保護者会、個別面談、授業参観）
 - (2) 港区青少年対策青山地区委員会との連携（委員会出席による情報共有）
 - (3) 宮代学園や地域支援機関との連携（各連絡会開催）
- 5 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実
 - (1) 特別支援教育コーディネーターによる地域支援の充実（相談支援、研修支援ほか）
 - (2) 副籍制度改正や「学校生活支援シート」導入に伴う円滑な対応
 - (3) 青山小学校、青山中学校との交流及び共同学習の実施（1～2回実施、青山祭への出展）
 - (4) 学校ホームページを活用した理解啓発推進（内容充実）
- 6 適正で効率的な学校経営の推進
 - (1) 法令等に基づく教職員のサービスの厳正の徹底（服務事故防止研修の計画的な実施と評価）
 - (2) 主幹教諭及び主任教諭を中心とした円滑な学校運営の推進（基幹会議進行管理、各部経営計画に基づく円滑な部運営、学校経営計画重点目標達成に向けた進行管理）
 - (3) 経営企画室業務の円滑な遂行と経営参画の推進（自律経営推進予算執行状況周知、学校徴収金の適切な管理・執行、教員向け予算執行手続き説明会や就学奨励費制度研修会の実施、基幹会議参画）
 - (4) 外部評価を活用した学校経営改善（学校運営連絡協議会、学校評価や各種アンケートの活用）
 - (5) 教職員の心身の健康・安全の維持増進（産業医相談等、安全衛生委員会、職員健康診断）
 - (6) 定時退庁日（毎週水曜日）、クリーンデスク（毎週金曜日）の実施